



# ふくしま HOPE ニュース

〒963-8862 福島県郡山市菜根3丁目14-3 ☎080-4109-8672 (事務局)

郵便振替口座【記号番号】02270-0-127272 【加入者名】福島県キリスト教子ども保養プロジェクト

ゆうちょ銀行【口座記号番号】18150-32195191【口座名称】フクシマケンキリストキョウコドモホヨウプロジェクト

【Mail】office@fukushimahooproject.com 【HP】www.fukushimahooproject.com

## 希望は失望に終わらない

ふくしま HOPE プロジェクト 事務局長 朝岡 勝

東日本大震災が起こった翌年、2012年の夏からスタートした「ふくしま HOPE プロジェクト」も、この秋で5年を迎えることとなりました。この働きは、文字通り何も無いようなところから、ただ目の前の必要に引き出されるようにして、背後の祈りに押し出されるようにして導かれてまいりました。これまで小さな働きが支えられてきたことを、主のくすしい御手のわざとあがめ、御名を賛美するとともに、多くの方々の変わらぬ祈りとご支援に心から感謝を申し上げます。

特に今年4月以降は、スタッフの入れ替わりや活動規模の縮小など、大きな変化を通じてきましたが、諸教会や個人、団体からの献金が途切れることなく与えられ続け、夏の保養キャンプや、新たな取り組みとして始まった「ホープカフェ」を行ってることが出来ました。また何よりも、4月から新たにスタッフとして高野望師・ジョイス姉夫妻（郡山キリスト福音教会伝道師）、木田友子姉（同教会員）が与えられ、活動規模の縮小に対し、その内容はむしろより充実していることを感謝しています。

震災から六年半が過ぎた福島は、なお福島第一原発事故の大きな影響のもとにありながら、その現実が少しずつ薄められ、過去に追いやられようとしています。避難区域の解除と住民帰還の方針は着々と進められていますが、それらが本当の意味で、この地に生きる人々の生活の回復、人生の回復につながるものとなっていくかはまだまだ見通せない現実があります。子どもたちの健康に関する不安もいまだ払拭されない中で、親御さんたちも、だんだんと口をつぐむようになっていくようにも感じられます。



震災当時の子どもたちも、今ではそれぞれ成長し、赤ちゃんは小学生に、小学生は中学生に、あるいは高校生になっています。家庭の環境も様々に変化し、それだけに抱える課題も多様化しています。私たちの働きは、小さく非力であっても、必要とされている方々に寄り添わせていただきたいという素朴な願いから始まりました。それがこの間にどれほど実現できたかは分かりません。しかしなおその必要があるということは確かなことと受けとめています。「ふくしま HOPE プロジェクト」に込めた「希望は失望に終わらない」（ローマ5:5）との確信が、このプロジェクトに関わるすべてのの方々にとっての、生きた現実になることを祈り求めています。

最後になりますが、事務局長としてあらためて皆さまに、引き続きのご支援をお願いいたします。継続的な支援者が与えられているものの、会計状況は大変厳しく、前年度からの繰越金を取り崩しながら活動している現状です。特にこれまで支援を続けてくださった外部団体の多くが、昨年度末で支援を終えられたこともあり、活動費、人件費の捻出に苦慮しているところです。多くの必要がある中で、大変心苦しいお願いで恐縮ですが、ぜひとも当プロジェクトのための献金、祈り、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 保養キャンプ 報告

### 第34回保養キャンプ in 新潟

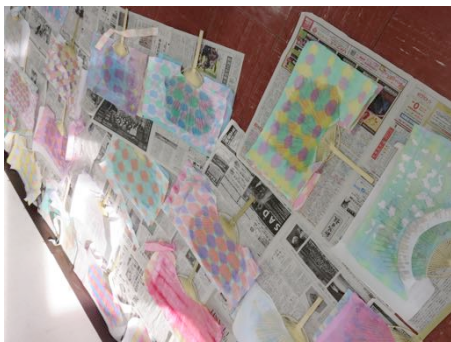
期間： 2017年8月1日(月)～3日(水)

場所： 五頭蓮峰少年自然の家（新潟県）

参加者： 保護者3名、子ども24名

\*\*\*\*\*

豊かな自然に囲まれた環境で子どもたちはのびのびと笑顔で遊びました！川遊び、沢登り、ゲーム大会、うちわ作り、キャンドルファイア、野外炊飯、バイブルタイム、どれも充実した時でした。キャンプの間、大きい子どもたちが小さい子の面倒を見たり、子どもたち同士が協力していたのが印象的でした。子どもたちの成長を見ることができました！



### \*\*\*\*\*保養キャンプ 利用者の声\*\*\*\*\*

#### ～子どもたちの声～

ゲームと沢登りが楽しかったです。ゲームでは優勝できなかったけど、楽しかったし、沢登りでは冒険しているみたいで楽しかったです。



知らないお友達とお話したり、走ったり楽しかったです。スタッフさんも優しいです。

#### ～保護者の皆様の声～

「家族がバラバラで生活するよりも、福島で家族一緒という選択をしましたが、不安はあります。年に一、二度でも子どもを思いっきり遊ばせていただけるとは大変嬉しいです。」

「支援いただく団体も少なくなり、なかなか行けなくなっております。続けていただけると有難いです。」

「自然体験は子どもたちにとって、とても大切なものです。今回参加させていただいて改めて確信しました。神さまの創られたこの世界を体感する機会でもあり、安心して自然体験できるキャンプはとてもありがたいです。」

## HOPE CAFÉ(ホープカフェ)



福島のお母さんを対象にした新企画「Hope Café」が6月から始まりました。Hope Caféは、アートを楽しみ、紅茶とケーキを食べながら過ごす「セルフケア」の集まりです。「セルフケア」とは自分の心と体が健康であるために何が必要なのかを意識し、積極的に自分をケアすることです。Hope Caféは福島のお母さんたちが、忙しい毎日を離れて自分の時間を確保し、アートを創作することによってセルフケアを経験することが目的です。

6月-7月は「喜び」、「感謝」をテーマとして、コラージュ作りをしました。アートが苦手な方も、初めてコラージュ作りに挑戦した方も充実した時間を過ごしました。子どもたちは別の部屋でコラージュ作りに参加し、楽しい時間を過ごしました。次回の Hope Café は11月-12月に計3回開かれる予定です。大人も子どももクリスマスのアートを創作します！



### \*\*\*\*\*HOPE CAFÉ 参加者の声\*\*\*\*\*

想像を超えて、豊かな時間を過ごせました。文章を作ったり、絵を描くのは大変でしょうがコラージュという方法で自分の思いを表現できることを実感しました。

とても素晴らしい時間でした。何かを作る事、分かち合う事…とても大切で、必要なのだと思います。これからも参加したいです。

久しぶりに家事や子供の事を気にせず物作りに集中できた事がよかったです。コラージュをする中で自分の事を少し確認できたかなと思います。

### \*\*\*\*\*

#### ～甲状腺エコー検査の実施について～

福島県は、震災当時18歳以下であった子どもたち約37万人を対象に、甲状腺エコー検査を実施しており、現在までに三巡目の検査が行われ、その結果が発表されております。その発表された結果を見ると、下表のように甲状腺がんないし疑いと診断された子どもたちの総数は、191名と発表されています。

| 甲状腺がん検査・悪性ないし悪性疑い     |            |            |
|-----------------------|------------|------------|
| 先行検査（1巡目）             | 本格検査Ⅰ（2巡目） | 本格検査Ⅱ（3巡目） |
| 116名（良性1，悪性101）       | 71人（悪性49名） | 4人（悪性2）    |
| 手術後、甲状腺がんと診断確定者数；152名 |            |            |

\*（ ）内は手術をして診断が確定した人の数

一方、甲状腺エコー検査の受診率は、一巡目（2011～2013年）81.7%、二巡目（2014～2015年）71.0%、三巡目（2016～2017年）35.8%と、次第に低くなってきております。継続的な検査の必要性が叫ばれながら、現実には、流れ作業による検査や検査結果が郵送されても、丁寧な説明がないなど、全般に不評です。ふくしま HOPE プロジェクトでは、日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」との協働によって、丁寧な甲状腺エコー検査を提供できないかと検討中です。

## 保養支援ファンド 報告

ご家族での保養を支援するため、過去に HOPE キャンプに参加したご家庭を対象として、HOPE キャンプへの参加やその他保養のために年2万円の支援（先着30組）を実施しています。

### \*\*\*\*\*保養支援ファンド 利用者の声\*\*\*\*\*

一週間、大自然の中、海や川遊び、土遊び、昆虫採集や久米島の歴史など、数え切れないほどの貴重な体験をし、制限のない自然遊びにとっても満足した様子で帰宅しました。

地元の大学生たちが企画してくれたイベントで毎日楽しい時間を過ごしました。野外炊飯では、火おこしから調理も子供たちみんなで協力し合っておいしい「ほうとう」を作りました。またじゃがいもを植えたり、畑の回りでお花を摘んだり、かえるやバッタをさわったり、落ち葉を拾ったり、山梨の自然をおもいっきり満喫した4日間でした。

二年前に支援していただき、保養に行き、それ以来の家族の保養になりました。娘達も大きくなり、都合が合わず、企画されている保養に参加するのはむずかしいので、このように支援して頂けると、とてもありがたいです。家族で、温泉に入ったり、近くの池を散策をしたり、とてもゆったりと過ごすことができました。

### \*\*\*\*\*

## 会計報告（2017年4月～8月）

| 収入の部(円) |           | 支出の部(円) |           |
|---------|-----------|---------|-----------|
| 個人献金    | 371,700   | 活動支援金   | 1,255,179 |
| 団体献金    | 1,018,474 | 事務費     | 39,583    |
| その他     | 3         | 通信費     | 110,812   |
|         |           | 交通費     | 28,440    |
|         |           | 会議費     | 10,286    |
|         |           | 人件費     | 1,380,000 |
|         |           | 備品費     | -         |
|         |           | 活動費     | -         |
|         |           | その他     | 8,264     |
| 小計      | 1,390,177 | 小計      | 2,832,564 |
| 前期未納金   | 2,671,358 | 今期末残金   | 1,228,971 |
| 合計      | 4,061,535 | 合計      | 4,061,535 |

<団体献金> 青森福音キリスト教会、麻布霞町教会、インマヌエル聖宣神学院キリスト教会、キリスト兄弟団日立教会、岸和田聖書教会、小竹町聖書教会教会学校、ザ・チャペルオブアドレーション、シオン・キリスト教団蒲田教会、新湊キリスト教会、震災支援グループ「麦の会」、白根福音教会、JCCWC（ウォールナットクリーク日系キリスト教会）、須賀川めぐみキリスト教会、TPKF（単立ペンテコステ教会フェローシップ）、高松シオン教会、茅ヶ崎シオンキリスト教会、千葉ニュータウン・バプテスト教会、長野福音教会、日本イエス・キリスト教団、日本キリスト改革派灘教会、日本ホーリネス教団横浜教会、原町聖書教会、久居聖書教会、広畑キリスト教会、藤沢福音自由教会、八街福音キリスト教会

<個人献金> 荒木 正三、赤坂 啓子、相場 郁郎、宇佐神 正武、大橋 忍、岸田 誠一郎、小岩井 智子、佐藤 祐子、坂井 弘昌、塩津 多恵子、寺家 千春、高橋 まりか、谷井 広樹、鶴田 典子、匿名、西川 輝代、原 ますみ、藤野 ゆり子、宮井 羊一、宮岡 千鶴子、三雲 隆雄、三木 智枝子、山下 タカ子、山本 純子、余郷 明子、渡邊 日登美（順不同、敬称略）